



《将来に向けた取組方針》

ダイフクグループは、「モノを動かし、心を動かす。」という経営理念のもと、世界中の人々が心豊かに生きられる社会を創造するためには、健全な地球環境を守ることが前提であり、環境課題への対応は重要な経営課題と考えています。

その中でも「生物多様性保全（自然との共生）」は、「気候変動への対応」「資源循環の促進」とともに、2050年に向けてグループ全体で取り組む重点領域として特定しています。

私たちは、社内での生物多様性保全の活動にあたり、「ダイフクグループ 生物多様性に関する行動指針」を策定し、骨子である「理解する」「行動する」「開示する」のもと、計画的に進めてまいります。

《生物多様性保全活動》

滋賀事業所内に生息する希少種のヤマトサンショウウオの保護・増殖に取り組んでいます。



幼生時期は外敵などに弱く、生存率が低いことがわかっています。生存率を高める取り組みとして、生息する幼生や卵の一部を保全池で飼育し、その後、元の生息地に放流しています。

《サステナビリティ アクション制度》

「サステナビリティ アクション」は、環境や社会貢献に対する従業員の自主的な学びの促進を目的に、各種活動に対してポイントを発行し、取得したポイントをエコ商品や震災復興商品などに交換できる制度です。また、発行したポイントに応じた金額を社外団体へ寄付しています。



従業員と家族の自然観察会



琵琶湖ヨシ刈りボランティア

